

令和8年度 教育計画						学校番号 227	
伊方町立三崎中学校							
校長名	浅野 長武	学級数	4 (1)	生徒数	21	教職員数	10

【 教 育 目 標 】

個性のはっきりした教養ある国際的日本人の育成

【 校 訓 】

正しく やさしく よくはたらく
個性のはっきりした教養ある国際的日本人になろう

【 目 指 す 生 徒 像 】

『正しく』
礼儀正しく、公正な判断
ができる生徒

『やさしく』
自分を大切にし、他を思い
やることができる生徒

『よくはたらく』
進んで一生懸命に取り組
むことができる生徒

【 重 点 事 項 】

みんなが育つ みんなの学校

～5カン（感動・感謝・感性・関係・関心）を大事にした教育～

【確かな学力】

- ① 基礎・基本の定着
- ② 好奇心・表現力
- ③ 個別最適化・学び合い

【豊かな心】

- ① 当事者意識
- ② ふるさと教育
- ③ 多様性

【健やかな体】

- ① 協働活動
- ② JRC 活動・生徒会活動・奉仕活動
- ③ 部活動、体力づくり

みんなの学校

子ども：楽しい
保護者：信頼できる
地 域：大切にしたい
教職員：働きがい

子ども
(主体性)

家 庭

基本的生活習慣・
心の安らぎ

地 域

ふるさと愛いっぱい
の人が育つ

重点目標	I ふるさとを愛し、未来を切り拓く子どもの育成（ふるさと×未来） 1 ふるさと学習の推進 2 地域学校協働本部との連携による家庭・地域人材の活用、地域行事への参加 3 感動体験・協働活動を生かしたキャリア教育の推進 4 誰一人置き去りにしないインクルーシブ教育の充実 5 多様性の尊重と、いじめ・偏見・差別を許さない態度の育成 6 生命尊重・危険予知能力の育成 II 創造・自律・対話を大切にした学びの羅針盤づくり（学び×創造） 1 「対立やジレンマに対処する力」「責任ある行動をとる力」「新たな価値を創造する力」の育成 2 対話的・問題解決的な学習を取り入れた協働的な学びの充実 3 I C Tを活用した個別最適な学びと学校間交流の推進 4 社会奉仕体験・自然体験活動の充実 III 子ども・保護者・地域・教職員が当事者となるみんなの学校づくり（みんな×当事者） 1 子どもにとっては楽しい学校、保護者にとっては信頼できる学校、地域にとっては大切にしたい学校、教職員にとっては働きがいのある学校の実現 2 対話を大切にした風通しのよい学校づくり 3 家庭を中心とした基本的生活習慣の育成 4 ホームページ・学校通信等による情報の発信 5 O J T研修による教職員の学び合いの推進
管理運営	【人的管理】 1 教育公務員としての綱紀保持と職務遂行の精神を培う。 2 地域学校協働本部・部活動指導員等との連携による働き方改革と教育の質の向上。 【物的管理】 1 危機管理マニュアルの見直し・活用による自然災害・火災等の実践的研修や避難訓練の充実。 2 個別最適な学びと協働的な学びのための I C T環境整備。 【事務管理】 1 伊方町共同学校事務室との連携による適切で厳正な事務処理。 2 個人情報に留意しつつ、校務支援システム・ホームページの積極活用。
本校教育の特色	1 地域学校協働本部と連携し、子どもを真ん中にした地域とともにある学校づくりを推進。 2 小規模校が多い町の特性を生かし、他校との自然体験・修学旅行・授業交流（I C T活用）を実施。 3 保育所・小学校・中学校・高校が一つずつの地域として、切れ目のない連携を実現。特に、継続している合同津波避難訓練の充実。 4 東日本大震災を契機に始まった、宮城県気仙沼市立大谷中学校との継続的な交流。また、令和7年度から中学生が主体的に活動する防災キャンプを実施。